株式会社タケシタ

福岡県三潴郡大木町

『技術力』×『設備力』×『IoT』で大型加工に特化した九州発のモノづくり

同社は半導体・FPD関連の他、様々な産業用生産設備に向けて精密製缶溶接や精密機械加工を行っている。今後高まりつつある大型加工ニーズに先駆けて、大型工作機を積極的に導入するとともに、大型製缶一貫生産体制の確立に取組んだ。現在では九州トップクラスの設備力と、多工程一貫生産を実現する技術力を武器に、全国の装置メーカーから受注を獲得している。また技術者の確保、育成を重要事項と捉え、様々な施策にも取組んでいる。

●所在地	福岡県三潴郡大木町大字大藪871
●電話／FAX	0944-33-2000／0944-33-0100
●URL	https://www.takeshita.co.jp/
●代表者	代表取締役社長　竹下　義人

●設立	1999年
●資本金	3,000万円
●従業員数	46人

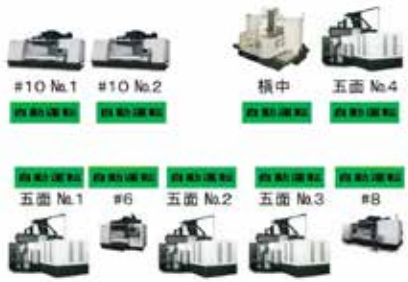
大型製缶一貫生産と大型精密機械加工に強み

産業用生産設備の筐体である装置架台・フレームを溶接から機械加工、塗装、装置組立までの多工程を一貫生産できる技術力に強みがある。複雑形状の架台･フレームも、高い溶接技術で熱影響による歪みを最小限に抑え、大型工作機による切削加工では、自社設計の特殊治具を用いて、鋳物の重切削加工から真空チャンバーの大型アルミ加工まで高精度・高品位加工を実現している。また、ISOを活用した品質管理システムを強化し、米国ASME規格にも準拠した体制を確立しており、大型放射光施設や米国の原子力発電施設等、より厳格な品質管理を求められる場所でも強みを発揮している。

製造現場

IoTとAIで工作機の稼働状況の見える化と保守予測に挑戦

工場のIoT化を推進し、すべての工作機をネットワークにつないで稼働状況の見える化を実現。これを生産管理システムと結びつけて生産性の向上につなげている。また、新しい工作機には稼働時のセンサー情報から機械の状態や将来の保守についてAIが分析診断する機能をつけており、さらなる生産性向上に取組んでいる。これらのIoTへの取組を通じて、より組織横断的な業務の平準化が可能となり、これまで人手不足で対応できなかった引合いについても部門間の異動を通じて受注対応できるようになっている。



稼働状況の見える化

資格取得の支援と働き方改革で技術者の育成と確保を実施

一貫生産を支える技術力は競争力の源泉であり、その維持向上を図るため、部門毎の改善発表会を毎月実施するほか、日本溶接協会や技能検定等の専門資格の取得支援制度を充実させるとともに、定年延長、再雇用制度を設け、熟練技術者の技術承継にも力をいれている。また、働き方改革にも注力し、労務コンサルタントの知見も取入れ、就業規則、賃金規則の見直しを実施。残業時間の抑制や、休暇取得を奨励し、雇用環境の改善を図っている。

毎月の改善発表会の様子